

Mランド丹波ささ山校 ニュース Vol. 7

平成19年7月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 発行責任者 井階正義

## 「ありがとう」のことばの

### 素晴らしさ

平成14年3月7日に二つのピンを煮沸し、炊きたてのご飯をそれぞれのピンに入れ、その一つのピンには「ありがとう」と書いたラベルをもう一つのピンには「ばかやろう」と書いたラベルを貼って窓辺に置いておきました。

「ありがとう」「ばかやろう」と書いたラベルがただ貼ってあるだけなのに、一年が過ぎてみると「ばかやろう」の方は黒いカビでいっぱいになりました。

「ありがとう」の方は少し黄色くなりましたが、カビはありません。

「ありがとう」という思いやりの温かいことばには不思議なエネルギーがあるみたいで、「ありがとう」のことばの素晴らしさが伝わるのは人だけではないようです。



1年経過した平成15年2月28日の様子です

■ MランドのMはメンタル(心)のM。ここMランドでは、ゲストの心をキラキラ輝かせることを考え、さまざまな活動を行なっています。

その一つに「サンキューレター」があります。ありがとうの気持ちをことばや文字にすることはとても気持ちのよいものです。書いているうちに自然に優しい心、温かい心になります。また、受け取った人も感謝されることの喜びを知り、「もつといいことをしよう」という気になります。さらには、感謝の気持ちを表わそうといふ気持ちも芽生えます。

こういう気持ちの人が増えれば全体の空気も優しく温かいものになってしまいます。

なんとか五月中に免許を取得することができました。ありがとうございました。  
学科も技能も分かり易くてとても楽しかったです。特に学科は久しぶりに学生の気分が味わえました。  
教習所で教えていただいたことを忘れず安全運転を心がけて、これから運転に生かしていきたいと思います。本当に世話をになりますがどうございました。  
（大江美由紀様）

■ 柴田絵梨香様へ  
勉強を教えてくれてありがとうございます。おかげで修了判定に合格できました。全力でしてくれたからこの点数が取れたんだと思います。

（村上翔史様）

■ 加藤勇輝様へ  
昨日は、部屋と一緒に掃除してくれて、ありがとうございました。とにかくきれいになりました。これからもきれいにしましょう。

（佐々木博康様）

明石でも一〇〇点をとり、所にしていくください。  
からもゲストが通って楽しい教習

■五月十五日、篠山警察署催恒例となりました「シルバーセーフティースクール」が当教所にて、約三十名の参加をいたしました。

篠山警察署小林交通課長の話で始まり、続いて当教習所導員による実地指導を行ないました。

参加された方の運転チェック行ない、それぞれの方にコメントアドバイスをさせていただき、体の場でも総括としてつぎの点をお願いしました。

○信頼関係は一定のルールの上に成り立ちます。

交通ルールを守ることを特に意識しましょう。

当教習所では、七十歳以上の方の免許更新時の法定講習を行なっております。

どの方もまじめに、真剣に受講され、安全への意識や心構えは若い方に比べるとどちらかとどうと高いように思われます。

ただ致し方ないことではあります。が行動面での衰えをどのようにカバーするか。運転が生活の一部となっているだけになんとか安全へのエスコートができるかと思うところです。

Mランド丹波ささ山校

教習所の皆様へ

井階所長様へ

シルバー・セーフティー

互いに譲り合う気持ちが安全で快適な運転には特に大切です。



機器を使って反応時間等の測定を行なう、自分のことを知るようになります。

関西電力検診従事者  
安全運転研修!

■五月三十一日、㈱関西電力三田営業所の検針される方の安全運転研修(二輪車)をお引き受けしました。

内容は、二輪車の運転特性や危険予測、回避に加え、事前の打ち合わせで希望された、濡れた路面や坂道の走行等も取り入れ、シミュレーターや実際にバイクで走行し、一人ひとりの指導と安全へのアドバイスを行ないました。

依頼主で受講者を統轄する責任者の方の見守る中、二時間に渡る研修、そして後日報告書の形での研修の記録と総評を添えてお伝えしました。



自らの業務用バイクを使っての研修



濡れた路面を設定しブレーキ練習

所には、「初心運転者の育成」というだけでなく、「地域の交通安全教育センター」としての役割もあります。学校、企業、自治会、婦人会、老人会等々諸団体、いろいろな方面に対しても、交通安全のための研修を通して、事故のない安全で快適な社会づくりで役に立ちたいと思います。

研修等計画がございまして、どうぞ遠慮なくご相談ください。  
兵庫県は明石に試験場があり、受験のために篠山からだとほぼ一日かかりとなります。

「ぜひ一回で合格してください。お金も時間もかかります。何よりも、あなた自身のやればできるという、可能性への自信につながります。さあ、やってみましょう」。これが、ゲストの方への激励であり、お願いですが、これだけで今のよだんな状況が創り出せているわけではありません。また、私たちが無理やり知識を詰め込んでいるわけでもありません。

業務上の事故防止の推進は、安全運転管理として企業に義務づけられていることであり、単に安全管理と企業への信頼と評価を高めることにもつながり、ないがしろにはできない、積極的に取り組むべき課題です。

学科試験合格率  
ただ今篠山校トップ!

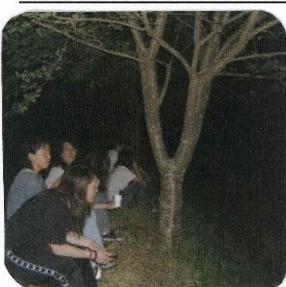
平成19年本免試験  
(1月~5月)

■初回合格率

篠山校 74.3 %  
県平均 59.9 %

■2回目以降合格率

篠山校 90.0 %  
県平均 82.3 %



残念ながらホタルは写りません

間がいる「こんな嬉しいことばも聞きました。そして、「無理!そんなのできなー」といつも弱気を口にしていたけど、自分の可能性を自分で下げていたんですね」と気づかれる方もいらっしゃいます。

今年の私たちの目標は、「学科試験合格率兵庫県ナンバー1になること」を掲げています。現実にもまだ今兵庫県下五十七校中、トップの合格率を維持しています。それは、単に免許取得ができるという自動車教習所としての最低限の仕事にとどまらず、「ゲストの方に生きていくための勇気と希望の芽を共に育む」という、私たちMラングの目的達成のための一つの目当てとして私たちが無理やり知識を詰め込んでいるわけでもあります。

タベのひととき

■梅雨入りを前に、タベのひとときを楽しもうと滞在生と共に近くの温泉とホタル観賞に出かけました。温泉は「まけきらいの湯」と称し、地元に伝わる縁起にちなんだ温泉で、露天風呂につかり、ゆったり、のんびりした気持ちを満喫。つづいては、十分ばかり車移動し、ホタル観賞です。車を降りるとすぐ目の前をホタルの光が宙を舞っています。「初めてホタルを観た。めっちゃ嬉しい。よかったです。」等と口々に感想を述べた後は、しばらく川端を歩き、ベンチに腰掛けて幻想的な光景を楽しみました。

湯上りの肌に空気が心地よく、満ち足りたひとときであったことは沈黙のときの様子に表われていたように思います。

自然の中の動植物を観てみると、いろいろと問題はあるものの、やはりそれほどの大狂いをすることもなく、確実に時を刻んでいるようになります。ツバメの飛翔、アジサイの色あい、ホタルの光のゆらめき…。もっとゆとりと呼吸することを私たちに教えているのかかもしれません。

編集後記